

みなさん

長崎大学人 河野 茂です。

しばらく学部長からのメッセージが続きましたが、久しぶりに私自身が投稿する月になりました。

前は6月だったので、3か月ぶりとなります。その間、国による制限のない夏休みなどによって、調査機関によると、学生生活の満足度はコロナ前の水準にまで上がってきているとする報道もありました。

皆さんはどのように感じているでしょうか。

先日私は、故郷である波佐見町の企画で、町長や友人たちと鼎談をする機会がありました。コロナによるイベントの中止や縮小が続き、小さな町では子供の数も減っていく中で、次第に活力を削がれている若者に、未来を担っていくために何かメッセージを送れないだろうかという趣旨でした。

自ずと自分自身の若いころ、子供の頃のことを思い浮かべ、自然に思い出話に花が咲くことになります。

もちろん当時と今はなにもかも違いますから、私の経験がそのまま今に通用するわけではありません。

ただ、環境は違えども、思いや志を持ち、それを貫こうとする気持ちは今も昔も変わらず、大きな価値があるのではないかと思います。

思いのままに行かない時、苦手な分野での如何ともしがたい負けや悔しさ、失敗や挫折…いろいろと思い出し、それをどう自分は克服し、志を貫いて来たかを改めて思い返しながらか、若者へのメッセージを考えました。

しかし、いくら考えてもそれほど大したことをしたわけではなかったようです。

結局は、志の実現に向けて、好きなことをやって来ただけだったように思うのです。

正攻法でうまく行かなければ、別の手を考えて実行する。手を変え、品を変え、手立てを尽くして好きなことをやっていただけだったと。

自ら選択肢をたくさん作り、実行することで、突破口を見出してきたのです。

ただ一つ、その過程で認識し、はっきり言えることは「好きなことは、必ずしも楽なことではない」という事です。

「好きなこと」と「楽しく楽なこと」とは似て非なるものです。

実は、好きなことを楽しめるようになるには、それなりの努力や学びが必要です。

好きなことをすればよい、という時、皆さんはどのような選択をし、行動するでしょうか。

次第にコロナ感染拡大防止のための行動制限も減り、「好きなこと」が出来る環境が整う中、一度、考えてみて欲しいと思います。

この鼎談の中で伝えた私のメッセージの部分を編集し You Tube にアップしました。興味のある人はぜひ視聴してみてください。

<https://youtu.be/rgKtpcXKSul>